

第61回 FM八女番組審議委員会 議事録

- 1 開催日 令和4年6月22日（水） 午後4時00分
- 2 開催場所 FM八女会議室（八女市役所黒木支所2階）
- 3 出席者 出席者総数 6名
委員総数 7名
出席委員 4名 青木歳男 野中秀展 元村乗子
野口紘平
レポート提出委員 1名 白鳥隆之

放送事業者側出席者 2名 高木祥平 中島直樹
- 4 議題 「開局10周年記念スペシャル」
令和4年6月1日（水）12:30～16:00 放送分
- 5 議事の概要 放送事業者が事前にCDに収録し、資料とともに各委員へ届けていた。
上記の番組について、モニター後の感想を全委員に述べていただいた。
- 6 番組内容 FM八女開局10周年を記念した特別番組
- 7 審議内容
 - ・全然知らないゲストばかりだったが、楽しめる内容だった。FM八女の10年を振り返ると同時に自分自身の10年を振り返るきっかけにもなり良かった。
 - ・過去の音源がところどころ出てきたが、面白かった。
 - ・内輪ノリっぽさもあったが歴史を振り返る内容なので、そういうものかなと楽しめた。
⇒FM八女より：通常の番組が内輪ノリにならないよう今後も気を付けていきたい。
 - ・「2分の1成人式」という言葉の後に「成人年齢引き下げられましたけどね」のツッコミが良かった。また、そのツッコミに対する3人の様子も含めパーソナリティの4人が兄弟姉妹のような雰囲気でもバランスの良さを感じた。
 - ・全体的にパーソナリティの高木さんの進行が素晴らしかったが各ゲストとの打ち合わせはどれくらいしていたのか。
⇒FM八女より：ゲストとの打ち合わせはほとんどしていない。

・パーソナリティマダム陽子さんの「災害後、いつになったら通常の放送に戻すべきか」という言葉が興味深かった。10年前の災害後、通常放送に戻すまでの期間はどれほどだったか。

⇒FM八女より：災害後3カ月間は通常放送を休止し、災害情報をお送りした。

・パーソナリティつつリンの失敗談がとても面白かった。またお知らせ放送を担当していた頃の「おはようございます」「こんにちは」の第一声にかける気持ちという部分に感銘を受けた。

・ミキサー操作が難しいという言葉があったが、どれほど難しいのか。

⇒FM八女より：話をしながら、曲をかけたりBGMやマイクのボリュームも調整したりするので難しい。市民パーソナリティでもミキサー操作ができる方は3名ほどである。

・過去のパーソナリティの「伝説エピソード」を集めてYouTubeで流してみたらどうか。番組の裏側などをYouTubeで放送すると良いと思う。

・10年間の振り返りのみで、今後の展望など未来の話がなかったことが残念だった。

⇒今後の話をすることも考えていたが、予想を超えるほどたくさんのメッセージをいただいたため、時間の限りメッセージを紹介した。

・防災ラジオであるが、番組の中で「防災」について触れられていなかった。

・全体を通じて、途中の掛け合いも含め楽しい内容だった。10年間の振り返り内容の番組で、最後にリスナーと作った曲を生演奏するなど、ヘビーリスナーにとってはとても満足な番組になったと思う。また、最近聴き始めたというリスナーにとっても、これまでのFM八女を知るきっかけになる内容で良かった。ゲストの小山正代さんがおっしゃっていたように「なまりのよさ」が感じられ、今後も八女らしくあってほしい。災害時、避難所が開設された時には避難所で防災ラジオを聴いている人が多いため、災害に関する情報は前提として、元気の出る楽しい放送を行ってほしい。

8 審議機関の答申又は意見の概要の公表

公表の方法 自社ホームページへ掲載

9 次回の番組審議委員会

日時 令和4年8月24日（水） 午後4時00分

場所 FM 八女 会議室

社名	一般財団法人 FM八女
----	-------------